

ブンジ男テニ活動報告 2020

◎3年生[50期]の皆様、ご卒業おめでとうございます！（2021.3.24）

僕は、国分寺高校の男子硬式テニス部は自由な部活だと思います。ただ、自由というのは、何でも好き勝手にやっていると意味の自由ではなく、過去の伝統に縛られすぎず、自分たちで自分たちなりの部活を作り上げられるという意味の自由です。もちろん、先輩たちが引き継いできた良い伝統をさらに次の世代へと引き継ぐことも大切ですが、本当に重要なのは今のメンバーがどんな目標を持ち、その目標に向けてどんな練習をするべきなのかを自分たちで考えることです。そのために仲間との連携を大切に、世代ごとの個性を生かして頑張ってください。応援しています。



50期部長 田中爽太

◎部活動再開！（2021.3.23）

いよいよ本日より部活動が再開されました！活動の実施に当たっては、都教育委員会の「部活動の在り方に関する方針」に基づくとともに、感染症対策を十分に講じ、生徒の安全を最優先して行っています。

それにしても部員たちのスタミナが…



◎緊急事態宣言の延長（2021.2.9）

緊急事態宣言の延長に伴い、大会はもちろん部活動も引き続き中止になりました。再開の日を待ちつつ、各々でできることをやるのみです。

◎第26回 東京都立高等学校テニス選手権大会（2021.1.10）

本来であれば都立個人ダブルス5回戦が行われる予定でしたが、緊急事態宣言が発出されたことに伴い、「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づいて、大会が延期となりました。同時に、部活動も緊急事態宣言が解除されるまで中止となりました。事態が収束に向かうことを願いつつ、選手には可能な範囲での準備を続けてもらえればと思います。

◎第42回 フジカップジュニアテニストーナメント（2020.12.13～29）

2年生の野崎くんが《準優勝》となり、カップと表彰状を貰いました。おめでとう！

シングルス 18歳以下男子

山口[1] 6-0、6-4、6-1、W. O、4-6 【Best 8】

梅林[2] 6-2、0-6

石田[2] 4-6

ダブルス 18歳以下男子

野崎[2]・松が谷高校 BYE、6-0、6-0、6-0、6-4、7-5、1-6 【準優勝】

樽谷[2]・立川高校 BYE、6-0、6-3、6-1、3-6 【Best 8】

杉田[1]・西崎[1] BYE、6-0、2-6

<http://www.rsfuji.co.jp/competition/2021/20210102173653.pdf>

◎第26回 東京都立高等学校テニス選手権大会 (2020.12.28)

シングルス 5回戦～準々決勝 @駒場

| | | | |
|-------|-----------------------------------|---------------------------------|--------|
| 野崎[2] | 5回戦 小金井北高校 6-1 | 6回戦 小平高校 4-6 | Best16 |
| 山口[1] | 5回戦 日野台高校 2-6 | | Best32 |

シングルス2日目、会場は駒場高校。選手たちはダブルスを挟み3日連続の試合となります。まずS1野崎くんの5回戦の相手は小金井北。ここは確実に勝ち上がることができました。続いては小平。この選手はシングルスノーシードではあるも実はダブルス第1シードの実力者。プレイスタイルは豪な感じでグイグイ押してきます。どちらかといえば柔な感じの野崎くんでしたが、最後はその圧にやられてしまいました。一方、山口くんの5回戦の相手は日野台。ミスの少ない堅実なスタイルの選手で、こちらのエンジンがかかる前にゲームを先取され、そのまま挽回できませんでした。

結果的に国分寺のシングルスは3人エントリーで2人が2日目に進み、Best16と32となりました。決して悪い成績ではありませんが、とくに野崎くんにとってはシードを守れなかったことを含め、非常に悔しい結果となりました。普段の部活動ではS1でキャプテンという立場を務めてくれていますが、彼を含めた上級者が普段の部活動の中でもレベルアップを図れる工夫を考えていかなければならないと痛感しました。

さて、年明けにはこの2人がダブルスで試合に臨みます。きちんと気持ちを切り替えて、上位進出を狙ってほしいと思います！



◎第26回 東京都立高等学校テニス選手権大会 (2020.12.26,27)

シングルス 1～4回戦

S1野崎[2] BYE、6-0、6-0、6-1 **1日目突破！**

S2 山口[1] 6-1、6-0、7-6⁽⁶⁾、6-3 **1日目突破!**

S3 樽谷[2] 6-2、6-4、1-6 (葛飾野)

ダブルス 1~4回戦

D1 野崎[1] 山口[1] B Y E、6-0、6-0、7-6⁽⁶⁾ **1日目突破!**

D2 石田[2] 西崎[1] B Y E、D E F、6-2、1-6 (五商)

D3 梅林[2] 杉田[1] 1-6 (保谷)

例年は年明けに始まる都立個人ですが、今年は年末のフジカップと並行しての異例の日程となりました。シングルスはまず大会第3シードのS1が順当に勝ち抜け。S2は3回戦での接戦を制し、その勢いで勝ち抜け。1日で4試合はよく頑張りました。S3は想定していた通り3回戦でシード選手との対戦になるも完敗。ダブルスは第8シードのD1が4回戦で接戦の末、見事に勝利して勝ち抜け。D2は4回戦に進むも第3シードに完敗。D3は初戦での敗退となりましたが、レギュラー陣の層を厚くするためにも、奮起を期待したいところです。

◎[南平高校](#)と練習試合(2020.12.6) @南平

・午前の部

シングルス5勝4敗、ダブルス4勝2敗

・午後の部

シングルス1勝12敗、ダブルス8敗

本日は午前午後でレベル分けをしての練習試合を行いました。結果を見ると、まるで別の学校のような勝敗になっています。国分寺の課題はまさにここに 있습니다。レギュラー陣は、戦績はもちろん振る舞いも含めて自分たちらしさを十分に発揮できていました。準レギュラーたちには、経験不足を補うだけの何らかしらのアクションを、今後の部活動の中で期待したいところです。



南平高校の皆さん、ありがとうございました!

◎ブンジ男テニ・2020年度のウォームアップウェア完成!(2020.12.5)

プラクティスTシャツに続いてブンジ男テニ公認のウォームアップウェアが完成しました!今回は1年生のみが購入だったこともあり、再び1年生がデザイン。悩みに悩んだ結果、入れた文字が「The Highschool of Kokubunji Tennis Club」です。文法的になんか違和感がありますが、字面がカッコいいのでokです!



◎[立川高校](#)と練習試合(2020.11.22) @立川

・団体戦秋季大会形式

シングルス2-1、ダブルス1-1、計3-2



・その他個人戦

シングルス3勝11敗、ダブルス5勝12敗

本日はフルメンバーで1日中、練習試合となりました。とくに1年生の初心者たちにとっては、練習の成果を試す絶好の機会です。なので初心者たちは結果より中身重視で構わなかったのですが…。全体を通して負けが多いです。翔陽との練習試合もそうでした。中位レベルの選手たちが勝てません。決して打てない訳ではなく勝てない。その原因が何なのか考えたところ、ひとつ気が付いたことがありました。翔陽も立川もコート面数が多いです。よって女テニやソフトテニが活動していたとしても、一人当たりのボールを打つ機会がたくさん持てます。一方、国分寺は僅か2面を3部で共用しているため、1面のみでの活動がメインとなっています。この打数の差を埋めるには、練習効率を上げることはもちろん、球拾いの時間を減らすなどして、打つ時間をいかに作れるかにかかっています。これからますます陽が落ちるのも早くなり、打てる時間も限られてきます。1球1球を大切に意味を持たせ、練習に励むことが求められます。



立川高校の皆さん、ありがとうございました！

◎第9回 東京秋季庭球選手権大会 2日目 (2020.11.15) @田無

4回戦敗退…。大会Best16で終了です。

4回戦 [清瀬高校](#)

| | |
|-------------------|-------|
| S 1 野崎 [2] | ⑥ - 4 |
| D 1 樽谷 [2] 石田 [2] | 3 - ⑥ |
| S 2 山口 [1] | ⑦ - 5 |
| D 2 中島 [2] 梅林 [2] | 1 - ⑥ |
| S 3 西崎 [1] | 5 - ⑦ |



決して油断したわけではありません。戦力的にも3本取って勝てる相手だったと思います。でもこれが現実…。試合の流れはまずS1が実力を発揮して1本取るも、続くD1が思わぬ敗戦。D2もあっさり負け、S2が2-5と後がなくなったのですが、ここから粘りに粘って捲り勝ち。そして勝利を託されたS3が4-2リードとこちらに勝機が。しかし今度はこっちが捲られ敗戦。よってポイント2-3で敗退しました。重複無しの団体戦は選手層の厚さがモノを言います。レギュラー上位で取りこぼしたとき、それを補えるだけの戦力が無ければこれ以上勝ち上がれないことを痛感しました。

◎国分寺市ジュニアテニス講習会 (2020.11.8) @戸倉第二コート

レギュラー陣が町田高校で試合を行っている今日、[国分寺市テニス連盟](#)が開催するジュニアテニス講習会に1年生3人が参加しました。小中学生中心でしたが、逆に高校生3人ということでコーチがついてくれて、ほぼマンツーマンの実技指導を受けることができました。普段の部活動ではなかなか実践できない初心者向けの練習が行えたことで、新しい発見もあったよう

です。基礎的なことはひたすら反復練習することで確実に身に付けることができます。参加した3人は先輩たちを驚かすようなレベルアップを目指して頑張りましょう！

◎第9回 東京秋季庭球選手権大会 1日目 (2020.11.8) @町田

大会初日を無事に突破！ただいまBest16進出中！

2回戦 昭和高校

S 1 野崎[2] ⑥-0
D 1 樽谷[2]石田[2] ⑥-3
S 2 山口[1] ⑥-0
D 2 中島[2]杉田[1] 2-⑥
S 3 西崎[1] ⑥-3

3回戦 町田高校

S 1 野崎[2] ⑥-0
D 1 石田[2]西崎[1] 6⁽⁹⁾-⑦
S 2 山口[1] ⑥-3
D 2 中島[2]杉田[1] 1-⑥
S 3 樽谷[2] ⑥-4

秋季大会は強豪揃いの多摩地区の都立高校がほぼ集まる団体戦です。今年は私立高校も含めて71校がエントリーしました。ブンジは新人戦で1名が本戦出場したもののシードはもらえず、第8シードの島からのチャレンジとなります。まず初戦の相手は昭和。戦力的にはこちらに分があることは明らかで、早々に3本取って難なく勝利♪しかしD1が波に乗るまで時間がかかり、自ら苦しい展開にしてしまったのは反省です。続く3回戦は町田高校。先の都立対抗ではこちらに軍配が上がりましたが、あのときはノーアドという条件のもと

でした。今大会は普通に1セットマッチであり、あちらもリベンジを果たそうと気合十分。ブンジだって負けるわけにはいきませんので、選手同士で勝利の方程式を立て、オーダーを初戦から少し変えて臨みました。実は相手には1番手不在というアクシデントがあり、結果的にはこちらの方程式ががちりはまり、シングルス3本を取っての勝利♪これで2日目進出を決めました。この試合では、あまり組んだことのないD2ペアが接戦を演じたことが収穫でした。1-5という絶望的な状況から巻き返し、タイブレークにまで持ち込んだ粘りは良かったです。しかし結局は終始リードを奪うことはなく、常に相手に先行され続けた結果、勝利を逃しました。

いくら粘っても、最後の1ポイントを取ることが重要です。またD2ペアは試合経験も少なく、緊張のためか体が動かないことがところどころに見受けられました。この大会を通じて、メンタル面の成長を期待したいところです。さて来週末の4回戦の相手は清瀬高校です。第8シードの西高校を破って勝ち上がってきました。この1週間でしっかり準備をして、勝利を収めたいと思います。



◎コーチ来校 (2020.11.3)

本校1番手の野崎君の伝手で、MTS テニスアリーナ三鷹の佐藤郷コーチにご来校いただきました。実は顧問も前任校でお世話になったご縁があったので、久しぶりの再会となりました。まず全体でストローク練習、続いてレギュラー陣の強化練習、最後に全体でサーブ練習を行いました。顧問が専門家ではないので、選手たちにとっては技術指導をしてもらう絶好の機会と

なりました。このようなときには遠慮はいりません。レベルアップに繋がる質問をどんどんぶつけていく選手がもっと増えてほしいと思います。郷コーチ、ありがとうございました！



◎[翔陽高校](#)と練習試合（2020.11.1）@翔陽

- ・団体戦秋季大会形式
シングルス1-2、ダブルス0-2、計1-4
- ・その他個人戦
シングルス2勝12敗、ダブルス1勝8敗

今春、強豪・久留米西高校の顧問の先生が異動されて、コロナ禍の限られた活動期間にも関わらず、急成長著しい翔陽高校に対して、僅か4勝という散々たる結果…。こちらは3番手の部長が不在だったとは言え、あまりにも負けが多すぎます。そもそも部全体として、勝ちにどれだけこだわっていたのか。普段から試合で勝つための練習を行っていたのか。選手からは負けて悔しいという言葉がありました。これからの部活動において具体的にどうするのかが問われます。今週末から秋季大会が始まりますが、できることから即、実行あるのみです。



翔陽高校の皆さん、ありがとうございました！

◎第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会【S本選】（2020.10.4）@日大三高

国分寺高校・野崎くん、残念ながら本戦1回戦で敗退。。。。

| 男子ダシングルス本戦1R | 1 | 2 | 3 | SETS |
|--------------|---|---|---|------|
| 大成高校 | 6 | - | - | 1 |
| 野崎[2]（国分寺） | 1 | - | - | 0 |



かつては日本テニスの聖地・有明テニスの森公園が会場となったこともありましたが、去年はオリパラ関連の工事、今年はコロナの影響なのでしょうか、どの会場も学校会場での本戦となりました。とはいえ、そこはさすがの本戦プレイヤー達です。応援がなくとも、彼らが集まり醸し出す空気は、やはり予選ラウンドとは異なるものでした。その中に国分寺のエースもおり、静かなるたたずまいの中にも秘めたる闘志を感じさせながら、試合に臨みました。相手は大成高校の選手。大成は全国レベルの選手を擁する東京を代表する強豪校の1つです。シード選手ではないとはいえ、強い選手であることは間違いありません。さて第1ゲーム。サービスからのスタートでしたが、なんとアドバンテージをとったところでセンターベルトが外れるトラブル発生。会場校の生徒が修復を試みるもなかなか直らず、5分以上待つ羽目に…。

そんなアクシデントに見舞われても再開後のポイントを冷静に取り、このゲームをキープ。スタートは上々だったのですが…。その後は相手サーブゲームを確実にキープされ、こちらのサーブは徐々に対応され立て続けにブレイク、そのまま試合は進み結果1-6で敗退。極端な力の差があったようには見えませんでした。ここ一番のショット、そしてネットミス少なさが勝敗を分けたようでした。選手は悔しさを口にしていたましたが、そもそもシングルス1163人中、本戦に進んだのはシード含め72人。うち都立勢は僅か9人のみです。ここまで来たことに胸を張り自信をもってほしいと思います。そして秋の団体戦、年明けの都立個人戦に向けて、選手個人だけでなく部全体で普段の活動から鍛えていかなければ、さらなる上には辿り着けません。この大会での経験を出場選手全員で部に還元することが求められます。

最後に、出場した選手、そして会場運営に携わった部員たち、ともにお疲れ様でした！

◎ブンジ男テニ・2020年度の部Tシャツ完成！（2020.9.30）

待ちに待ったブンジ男テニ公認のプラクティスTシャツが完成しました！デザインは1年生が中心となって作成。あのデザインをオマージュしたもので、都庁、スカイツリー、国分寺高校の校舎、最寄りの国立駅三角駅舎が描かれています。お揃いの真っ赤なTシャツをまとい、より一層練習に励むモチベーションが上がりました！



◎第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会【D予選2日目】（2020.9.27）

ダブルス 3R, 4R, 5R

野崎[2] 山口[1] 6-1, 6-1, 2-6 (芦花)【予選決勝】

榎谷[2] 石田[2] 6-2, 3-6 (文京)

ダブルス2日目、シングルスに続いて本戦出場を果たしたい2組。会場はNo.1が翔陽、No.2が日大三高。応援がない中で、いかにペアで気持ちを高めることができるかが勝利のカギを握ります。まずは榎谷石田ペアの3回戦、相手は南平。こちらが試合を有利に進めだすと相手は沈黙しそのままこちらが勝利！やはりダブルスではペアでのコミュニケーションは大事です。そして次は文京。このペアはそのコミュニケーションをとるのが上手で、ダブルスとしてよく機能していたことを先の会場提供で目の当たりにしていました。試合の方はその相手の良いところの勢いそのまま国分寺は0-3と押される序盤。そこから3ゲーム巻き返し3-3にするも相手キープで3-4となり、次のこちらのサーブゲームをキープできれば…というところで落とし、結果そのまま敗退。逆転のチャンスもあっただけに悔しい敗戦となりました。そして野崎山口ペアは3R 4Rを危なげなく勝利し、順当に予選決勝に進出。その相手はシングルス本戦出場選手を擁する芦花のペア。条件はこちらも同じなので真っ向勝負です。ですが…、その選手（1年生！）の実力は思いのほか高く、勝利すなわち本戦出場を果たすことは叶いませんでした。野崎君にはその悔しさをシングルス本戦の糧にしてもらいたいです。



◎第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会【S予選3日目】(2020.9.22)

ブンジ男テニ・シングルスNo.1、本戦進出決定!

シングルス 4 R, 5 R

野崎[2] 6-0、6-0【予選決勝】

世間は秋分の日。しかし国分寺高校はなぜか授業日!なので公欠をとって選手一人で試合に挑みました。国分寺のエースの実力は高く、あっけなく勝利を修め、昨年に引き続き本戦出場を果たしました!本戦でもその実力をいかに発揮してもらいたいです。

◎第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会【S予選初日2日目】(2020.9.20-21)

シングルス 1 R, 2 R, 3 R

野崎[2] B Y E、6-0、6-0【日抜け!】

山口[1] B Y E、6-2、3-6(八王子)

樽谷[2] B Y E、6-0、1-6(かえつ有明)

石田[2] B Y E、6-3、5-7(國學院)

西崎[1] 3-6(小石川)

中島[2] 0-6(保谷)



今週末の連休は、2日間に分かれての新人戦シングルス初戦~3回戦です。先週のダブルスに引き続き会場提供したことで、4選手はホームコートでの試合となり、初戦を快勝しました!一方、他会場での試合となった2選手はともに初戦敗退。実力不足といえばそれまでなのですが、どんな状況でも力を発揮できる心の強さを身につけなければなりません。そして日抜けをかけて3回戦に挑んだ4選手ですが、残念ながら勝ち抜いたのは僅か1名のみ。彼は昨年度の新人戦で1年生ながら本戦に進んだ実力者なので、これは順当な結果。国分寺としては彼に続く選手を期待していたのですが、2年生レギュラーそして期待の1年生も私立の壁に阻まれてしまいました。この大会が終わると、重複無しの団体戦、都立個人戦が控えています。選手層を厚く充実させていくことが今後の課題として明るみになりました。

また会場提供については人数を2日間に分けて行いました。先週の経験もあったので少ない人数でも滞りなくスムーズな進行ができました。このように部としての経験値を積んでいくことも、選手が強くなるために必要なことです。今大会での会場提供は今日で終わりますが、引き続き挑戦していきたいです。

◎第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会【D予選1日目】(2020.9.13)

ダブルス 1 R, 2 R

野崎[2] 山口[1] 6-1、6-0【日抜け!】

樽谷[2] 石田[2] B Y E、6-1【日抜け!】

梅林[2] 西崎[1] 2-6(国立)

いよいよ新人戦が始まりました。今年のブンジ男テニは、前回結果と会場提供で2ポイントプラスして、ダブルス3本、シングルス6本で挑みます。会場提供することはある意味、部としての挑戦であり、普段はあまり前に出ることのない選手以外の部員が中心となって仕事をこ

なさなければなりません。ですがそこは国分寺の生徒たち。各自がそれぞれの役割をきちんと果たし、なんとかスムーズな試合進行をすることができました。またもともとコートの一部のコンディションが非常に悪かったのですが、会場提供を決めてから部員全員でコツコツと整備を続けてきました。そのおかげでコートは無事に試合ができるレベルまでになりました。会場提供はあと2日間あります。気を抜かず、しっかり進行したいと思います。

なお会場提供したことで、2組が慣れ親しんだホームコートで初戦を迎えることができました。そのおかげもあり、ともに快勝！危なげなく日抜けを果たしました。1組だけ他会場となりましたが、13時ラウンドだったため、国分寺から気持ちよく出陣するも、初戦敗退。デュースにはなるもそこから2本取れないゲームばかりで、悔しさの残る試合だったそうです。



選手以外で会場運営を実施



選手はホームコートで快勝！



コート整備は全員で

◎[駒場高校](#)、[久留米西高校](#)と練習試合（2020.9.6）@駒場

レベル別グループに分かれて新人戦プレトーナメントを実施しました。

vs 駒場：シングルス2勝5敗、ダブルス1敗

vs 久留米西：シングルス2勝2敗、ダブルス1勝1敗

都立対抗で負けた駒場高校は3年生が抜けたにも関わらず、さすがの選手層の厚さからか負け越し。一方、都立対抗準優勝の久留米西とはいい勝負となりました。新人戦は私立高校も含まれ、都立をしのぐ強豪校と対戦することもあります。

この場で得た課題を選手たち各々で修正して、いよいよ新人戦に挑みます！

駒場高校、久留米西高校の皆さん、ありがとうございました！



◎[国立高校](#)と練習試合（2020.8.30）@国立

団体戦秋季大会形式

シングルス0-3、ダブルス1-1、計1-4

その他個人戦

シングルス5勝11敗、ダブルス2勝5敗

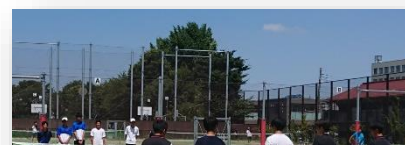
団体戦含め、上位の選手は競る試合もありましたが、その他はワンサイドゲームが多く、力の差は歴然。

3年生が抜けて間もない新チームであるにも関わらず、テニスにも振る舞いにも、すでに国立高校らしさが表れていました。選手各々が何かを学び得てくれたことを期待します。

国立高校の皆さん、ありがとうございました！



◎[小金井北高校](#)と練習試合（2020.8.20）@小金井北



都立対抗団体戦形式

ダブルス0-2、シングルス2-1、計2-3

その他個人戦

午前の部：ダブルス2勝6敗、シングルス4勝9敗

午後の部：

都立対抗が終わって最初の練習試合です。テニスの強い多くの学校は3年生が引退して新体制のスタートをきったばかりですので、1年後を見据えた戦いも始まったこととなります。小金井北はコート環境が抜群に整っており、羨ましいかぎりです。単純に考えても1選手がボールを打つ回数は国分寺と比べて圧倒的に多いことは明らか。だからこそ普段の部活動でどれだけたくさん球を打つ機会が作れるのか考え、練習メニューを工夫することが必要になります。同時に1球1球に打つ意味を込めることで、練習の質を上げることも求められます。いずれまたお手合わせをお願いすることになると思いますが、今日の結果との違いが良い形で表れてくれることを願います。暑い中でしたが、午前午後とたくさん試合をした中で、国分寺の選手たちにどれだけ気付きがあったのか。短い夏休みがあつという間に終わります。

小金井北高校の皆さん、ありがとうございました！



◎（男子64回）都立対抗テニス大会 3日目（2020.8.11）@駒場

ブンジ男テニ、大会第5位入賞おめでとう！



5回戦 駒場高校(5)

- | | |
|----------------|----------|
| D 1 野崎[2]山口[1] | 1-⑥ |
| D 2 樽谷[2]石田[2] | 1-⑥ |
| S 1 野崎[2] | 5-4 打ち切り |
| S 2 山口[1] | 打ち切り |
| S 3 樽谷[2] | 3-⑥ |



連日の猛暑の中、大会は3日目に突入！相手は第5シードの駒場高校、3年生も残っており、本気で優勝を狙いに来ている強豪校です。相手校の会場だったこともあり、アウェイ感も漂う中、ダブルス2本の同時スタートで試合は始まりました。しかし…、結果はどちらも1-6で落としました。確かに実力差はあったのかもしれませんが、それでもD1は競っていた印象、D2はこちらのミスが多い印象でした。後が無くなったブンジですが、進行の関係でシングルスはS3からのスタート。簡単には終わらせないと、ここで部長が渾身の粘りのテニスを見せてくれました。続いてスタートしたS1も接戦に持ち込み、スコアも若干リ

ードの様相。これで2本取り返してS2での決着に持ち込めるか？と逆転の展開が頭をよぎるも、S3が落とし、S1は打ち切り。これにて敗退が決定しました。

大会結果は第5位 (Best 8) となりました。目標がBest 4だったので、あと一步のところでしたが、正直、出来すぎの結果だと思います。確かに3回戦で第4シードの町田を破ったのは凄いことです。これには胸を張って良いと思います。しかし3日目の駒場高校や同会場にいた小平高校とは、選手個々のレベルだけでなく、部としての振る舞い、応援、選手以外の部員の様子など、総合的な部としての強さの部分で大きな壁を感じました。国分寺の男テニは言わばこれからの学校です。新年度から顧問が変わり、今大会の結果から自信を得たことで、部に新しい風が吹き始めたことは選手たちも感じていると思います。今度の新人戦では会場提供をすることにしました。ブンジ男テニの秘めた可能性に大きな期待を感じさせてくれた都立対抗団体戦でした。

◎ (男子64回) 都立対抗テニス大会 2日目 (2020.8.10) @井草

3回戦 町田高校 (4)

D 1 野崎 [2] 山口 [1] ⑥-1
 D 2 樽谷 [2] 石田 [2] 1-⑥
 S 1 野崎 [2] ⑥-2
 S 2 山口 [1] ⑥-2
 S 3 樽谷 [2] 打ち切り

4回戦 篠崎高校

D 1 野崎 [2] 山口 [1] ⑥-0
 D 2 樽谷 [2] 石田 [2] ⑥-1
 S 1 野崎 [2] ⑥-0
 S 2 山口 [1] 打ち切り
 S 3 樽谷 [2] 打ち切り

大会2日目にして最大の山場、相手は第4シードの町田高校です。今大会はシードの決め方が例年とは異なり、必ずしも直近の成績を反映したものではありませんでしたが、言わずと知れた強豪校であります。ドロー発表時に想定していた通り3回戦での対戦となりました。苦戦が予想されたのですが、結果的にはD1が1本目を取ったことで、よい流れを作れたことが勝利につながりました。今大会の規定で3回戦は1セットマッチ (ノーアド) でしたので、デュースの後はそのポイントを取った方がゲームを取ります。最初の3ゲームをその形でポンポンと先行できたのが大きかったです。D2は負けてしまいましたが、D1ペアが勢いそのままそれぞれシングルスに入り2本とり、チームは勝利しました！

続く4回戦は篠崎高校。都内の学校は情報が少なく、3回戦の様子からは体の大きい選手が繰り出す強打が目を引きました。そこをクレバーな試合運びでこなし、終わってみればスコアを圧倒。勝利をおさめ、大会3日目進出を果たしました！



2日目の大一番に臨む！



さまになってきた？



これでBest 8決定！！

◎ (男子64回) 都立対抗テニス大会 1日目 (2020.8.9) @町田

1回戦 つばさ総合高校

D 1 野崎 [2] 山口 [1] ④-0

2回戦 山崎高校

D 1 野崎 [2] 山口 [1] ⑦-6 (2)

D 2 樽谷[2]石田[2] ④-1
 S 1 野崎[2] 2-④
 S 2 山口[1] ④-1
 S 3 石田[2] 1-④

D 2 樽谷[2]石田[2] ⑥-2
 S 1 野崎[2] 6-5 打ち切り
 S 2 山口[1] ⑥-3
 S 3 樽谷[2] 打ち切り

少しずつではありますが、日常生活が戻りつつある中、学校はなんとか1学期を終えました。例年であれば1学期末に都立対抗団体があり、多くの学校ではそこで3年生が引退という形をとりますが、今年は事情が異なります。大会自体の開催も危ぶまれましたが、実施される運びになったことは大変喜ばしく、またその陰で関係の先生方のご尽力があったことを感謝いたします。なお国分寺男テニは、3年生は年度初めに引退したので、2年生中心のチームで大会に臨みました。

新チームは大会ベスト4進出を目標に掲げました。これは簡単に達成できるものではありませんが、決して不可能ではないと練習に励んできました。客観的な戦力分析をしても、初日で負けるわけにはいきません。1回戦、2回戦も競った試合がありましたが、団体戦としては危なげなく勝利をおさめることができ、大会2日目に進出しました！



新チームの初陣です！



円陣がダメなので工夫を。。



応援、スコア記録も頑張った

◎調布北高校と練習試合(2020.8.8) @調布北
 都立対抗団体戦形式

ダブルス0-2、シングルス2-1、計2-3
 その他個人戦

ダブルス3敗、シングルス1勝1敗

明日から始まる都立対抗に合わせ、今週も練習試合を行いました。急な事情もあってレギュラー含めたメンバーが揃わなかったとは言え、団体戦で負け越し。さらに戦績を振り返ると、ダブルス全敗という結果でした。今日の結果をしっかりと反省しつつ、気持ちはしっかりと切り替えて、明日に備えたいと思います。



調布北高校の皆さん、ありがとうございました！

◎小平高校と練習試合(2020.8.2) @小平
 都立対抗団体戦形式

ダブルス1-1、シングルス1-2、計2-3
 その他個人戦

ダブルス1敗2本打ち切り、シングルス3勝2敗
 都立対抗を想定した団体戦では負けてしまいましたが、



競ったゲームも多々あり、十分に戦えたと思います。

しかし、その競り合いを制する強さこそ、国分寺にまだ足りない要素であります。テニスの内容はもちろん、会場運営や試合以外での部員の動きも含め、学ぶことの多い練習試合でした。

小平高校の皆さん、ありがとうございました！

◎合同練習（2020.7.27）@小平

本日は部員4人が小平高校へ合同練習に出向きました。小平は昨年の都立団体で準優勝となるなど、近年実力をつけてきた学校です。代替わりをしても、強豪校らしい練習、振る舞い、そして雰囲気を感じることができました。今週末には小平と練習試合を予定しています。ここで得た刺激を持ち帰り、部の練習に還元してもらえればと思います。



◎歓迎1年生(52期)！！（2020.7.12）

今年度の新入部員は7名でした。ブンジ男テニへようこそ！経験者も初心者も一丸となって盛り上げていきましょう！さっそく水はけの悪いコートでの洗礼を受けてしまいましたけど…。さて、インハイ予選は中止となってしまいましたが、8月に都立団体戦の開催が決定しました！明日から定期考査1週間前で部活は休みとなりますが、掲げた目標を達成すべく練習あるのみ！



◎徐々に部活動開始です！（2020.6.29）

分散登校も段階的に緩やかになり、やっと部活動も行えるまでになりました。各学年の生徒は1日おきに登校して、授業や部活動は半分の生徒で行っています。今は仮入部期間ですが、毎日のように新1年生が練習に来てくれています。7月8日の一斉部会で新入部員が決まります。いまから待ち遠しいですね、ときどき！



◎新年度が始まりましたが…（2020.4.6）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校活動の縮小が決まり、クラブ活動も自粛という形になりました。例年通りであれば、5月にインハイ予選の個人戦、団体戦があります。国分寺高校の男子テニス部3年生の多くはここで引退をする形となっていましたが、これらの試合はすべて中止となり、学校生活もスタートしないまま部活動は終わりを告げました。そんな中でも部は代替わりを行い、3年生の思いを引き継いだ新2年生が中心となり、新1年生を迎え、新たなスタートとなります。今は当たり前の日常が早く戻ることを祈りつつ、できること、すべきことをするのみです。

